

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。立春も過ぎて春が待ち遠しい季節になりました。さて、先月は定額給付金を巡る麻生さんの発言の二転三転をお伝えしましたが、今度は郵政民営化を巡って二転三転。

先月も同じことを申しあげましたが、総理大臣は国のリーダー。リーダーの方針がブレると国の運営も右往左往します。

「俺はもともと郵政民営化に賛成ではなかった」。ビックリ発言の真意を問われた麻生さん。今度は「その頃は総務大臣だったけど郵政担当からはずされていなかったからね。あんまり詳しくなかったわけ。いろいろ勉強して最終的には民営化がいいと思うようになった」と説明。

ところが、昨年の総裁選挙の折、外国特派員協会主催の討論会で郵政民営化に賛成する意見を求められた麻生さん。「俺は郵政担当だったんだよ、つまり総務大臣。詳しくなかったわけよ」と発言していたことが判明。ちよつとブレが「多す

ぎ」「大きすぎ」。正反対の発言や事実と異なる言い訳を何度も聞かされると「オイオイ、大丈夫？」と心配したくなります。

「百年に一度の危機」で景気は極めて厳しい状況。皆さんだ事件が頻発、世相も乱れ、世直しが急務。こんな時こそドーンと構えてブレないリーダーが必要で

ブレないリーダーと聞く

と戦国武将が頭に浮かびます。何と言っても「風林火山」で有名な武田信玄。「動かさること山の如し」ですが、いざ動くときは「疾(はや)きこと風の如し」です。ブレてはいけないことにはドーンと構え、行動を起こす時には驚くほど速く・・・、何やら今の日本を立て直すための心構えを教えてくれているようです。

武田信玄の言葉でもうひとつ有名なのは「人は楯、人は石垣、人は城」、つまり人が大切であり、人こそ全てという含意。そういう考え方だったからこそ、信玄を慕う強固な家臣団が形

成されました。

武田家のライバル上杉家の名将直江兼続を主人公とする大河ドラマ「天地人」。「天の時、地の利にしかず、地の利は人の和にしかず」という孟子の格言に由来します。環境(天の時)は戦略(地の利)に優らず、戦略(地の利)は士気(人の和)に優らず。つまり、これも人が大切という含意です。

日本の立て直しのために人は大切。ブレないリーダーのもとに人が集い、日本を立て直します。そして、ブレないリーダーが登場するかどうかは、政治に対する国民の皆さんの厳しいチェックの目と選挙での選択にかかっています。

麻生さんのブレまくりにブチ切れたのか、久々に小泉さんが登場。「定額給付金は三分の二条項を使って衆議院で再可決するようなものではない」と一刀両断。その矢先に側近の中川さんが「酩酊(めいてい)記者会見」で辞任。麻生政権もブチ切れそうです。



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷 覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ8年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

毎月21日、覚王山日泰寺は

「弘法さん」

「かわら版配り」ボランティア募集!

21日の8:40~10:30頃山門へおいでください。

お問い合わせ:052(757)1955 大塚耕平事務所(黒田/佐久間)

中川罪夢大臣が辞任

